

## 中国株 AI運用ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

【設定日】 2018年10月26日

【決算日】原則、10月18日

### 運用実績

#### 基準価額および純資産総額

|       |        |
|-------|--------|
| 基準価額  | 9,644円 |
| 純資産総額 | 3.07億円 |

※ 基準価額は、分配金控除後です。

#### 期間別騰落率

|        | 当ファンド  |
|--------|--------|
| 過去1か月間 | -4.41% |
| 過去3か月間 | -      |
| 過去6か月間 | -      |
| 過去1年間  | -      |
| 過去3年間  | -      |
| 過去5年間  | -      |

設定来 -3.56%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものと計算しており、実際の騰落率とは異なります。

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000円を基準として計算しております。

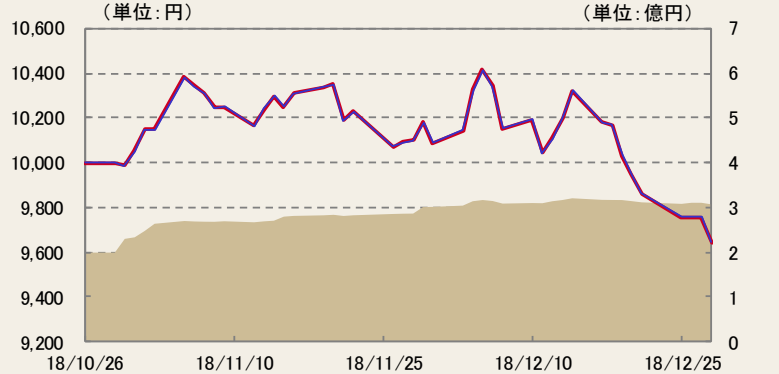
#### 分配実績(直近5期分/1万口当たり、税引前)

|       |    |
|-------|----|
| -     | -  |
| -     | -  |
| -     | -  |
| -     | -  |
| -     | -  |
| -     | -  |
| -     | -  |
| -     | -  |
| -     | -  |
| 設定来累計 | 0円 |

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

#### 基準価額・純資産の推移

2018/10/26～2018/12/28



■ 純資産総額(右軸) ■ 基準価額(左軸) ■ 基準価額(税引前分配金再投資)(左軸)

- ※ 基準価額(税引前分配金再投資)は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものと計算しております(以下同じ)。
- ※ 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(後掲「ファンドの費用」参照)は控除されております(以下同じ)。
- ※ 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。
- ※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

#### 構成比率

|                                | 純資産比   |
|--------------------------------|--------|
| U Access Optimum China A Equit | 93.96% |
| SOMPOマネーブルマザーファンド              | 1.02%  |
| コール・ローン等                       | 5.02%  |

### 投資信託証券 : U Access - Optimum China A Equity YC share class

本項目は、ユニオン・バンケール・ジェステイオン・アンスティテュショナル(フランス)エスエーエスおよびUBP インベストメント・マネジメント(上海)リミテッドが作成したデータを掲載しております。

#### 投資信託証券価額の変動要因(円)

|     | 投資信託証券 |
|-----|--------|
| 株式  | -327   |
| 債券  | 0      |
| 為替  | -118   |
| その他 | -16    |
| 合計  | -461   |

※ 月末最終営業日の前日の価額を使用して計算しています。

#### 投資信託証券価額のアロケーション効果(円)

|               | 投資信託証券 |
|---------------|--------|
| 株式100%の場合の変動額 | -321   |
| 実際の変動額        | -461   |
| アロケーション効果     | -140   |

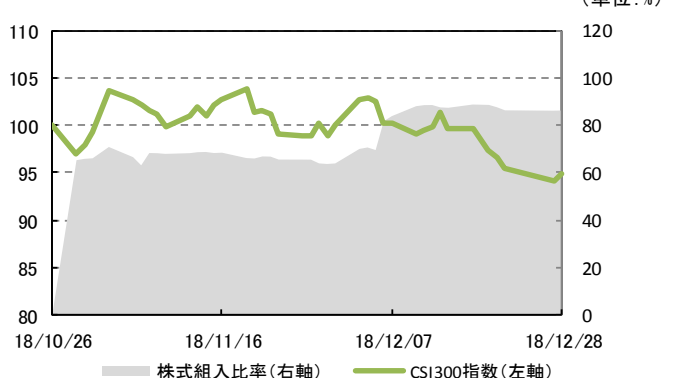
※ 月末最終営業日の前日の価額を使用して計算しています。

#### 構成比率

|     | 純資産比  |
|-----|-------|
| 株式  | 86.3% |
| 債券  | 0.0%  |
| 現金等 | 13.7% |

#### 株価指数と株式組入比率の推移

2018/10/26～2018/12/28



■ 株式組入比率(右軸) ■ CSI300指数(左軸)

※ CSI300 指数は2018年10月26日時点をもとに100として指数化しています。

出所: Bloomberg

## 中国株 AI運用ファンド

### 市場別構成比率

| 市場  | 純資産比  |
|-----|-------|
| 上海  | 63.5% |
| 深セン | 22.8% |
| 合計  | 86.3% |

### 業種別構成比率

| 業種             | 純資産比  |
|----------------|-------|
| 金融             | 28.3% |
| 資本財・サービス       | 17.0% |
| 一般消費財・サービス     | 9.1%  |
| 素材             | 6.4%  |
| 公益事業           | 5.7%  |
| ヘルスケア          | 4.3%  |
| 情報技術           | 4.2%  |
| 生活必需品          | 3.9%  |
| 不動産            | 3.0%  |
| エネルギー          | 2.4%  |
| コミュニケーション・サービス | 2.1%  |
| 合計             | 86.3% |

### 組入上位10銘柄

| 銘柄名                                    | 市場 | 業種         | 純資産比  |
|--|----|------------|-------|
| 1 BANK OF COMMUNICATIONS               | 上海 | 金融         | 2.5%  |
| 2 PING AN INSURANCE GROUP CO.SHS.A     | 上海 | 金融         | 2.4%  |
| 3 CHINA MINSENG BANKING -A-            | 上海 | 金融         | 2.1%  |
| 4 CHINA YANGTZE POWER -A-              | 上海 | 公益事業       | 2.0%  |
| 5 INDUSTRIAL BANK                      | 上海 | 金融         | 1.9%  |
| 6 DAQIN RAILWAY CO LTD -A-             | 上海 | 資本財・サービス   | 1.7%  |
| 7 BANK OF CHINA LTD -A-                | 上海 | 金融         | 1.6%  |
| 8 BANK OF NANJING CO LTD -A-           | 上海 | 金融         | 1.6%  |
| 9 SHANGHAI PUDONG DEVELOPMENT BANK -A- | 上海 | 金融         | 1.6%  |
| 10 SAIC MOTOR CO LTD                   | 上海 | 一般消費財・サービス | 1.5%  |
| 組入銘柄数                                  |    |            | 187銘柄 |

## 主要な資産の状況 : SOMPOマネープールマザーファンド

### 構成比率(マザーファンド)

|          | 純資産比    |
|----------|---------|
| コール・ローン等 | 100.00% |

### 種類別構成比率(マザーファンド)

| 種類 | 純資産比 |
|----|------|
| -  | -    |

### 組入上位10銘柄(マザーファンド)

| 銘柄名   | 種類 | 償還日 | 純資産比 |
|-------|----|-----|------|
| 1 -   | -  | -   | -    |
| 2 -   | -  | -   | -    |
| 3 -   | -  | -   | -    |
| 4 -   | -  | -   | -    |
| 5 -   | -  | -   | -    |
| 6 -   | -  | -   | -    |
| 7 -   | -  | -   | -    |
| 8 -   | -  | -   | -    |
| 9 -   | -  | -   | -    |
| 10 -  | -  | -   | -    |
| 組入銘柄数 |    |     | 銘柄   |

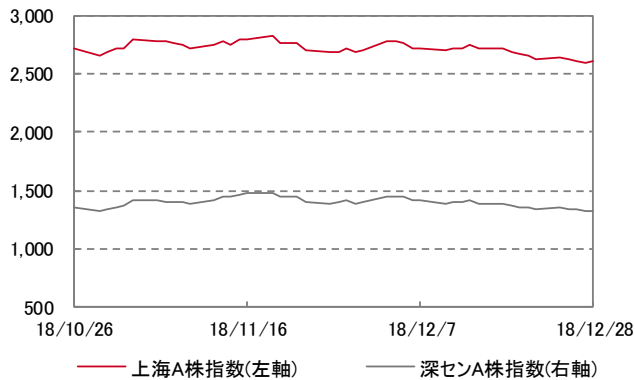
## 中国株 AI運用ファンド

### ファンドマネージャーコメント

### U Access – Optimum China A Equity YC share class

#### 主要株価指数

2018/10/26～2018/12/28



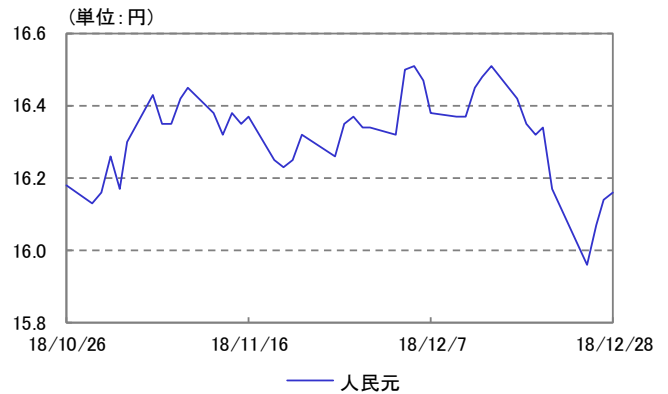
|             | 上海A株指数   | 深センA株指数  |
|-------------|----------|----------|
| 2018年11月30日 | 2,710.17 | 1,398.85 |
| 2018年12月28日 | 2,611.38 | 1,325.66 |
| 騰落率         | -3.65%   | -5.23%   |

※ 休日の場合は直近の指数値を表示しております。  
 ※ 上記指数は市場動向を示したものであり、ベンチマークではありません。

出所：Bloomberg

#### 主要為替レート(対円)

2018/10/26～2018/12/28



|             | 人民元    |
|-------------|--------|
| 2018年11月30日 | 16.34  |
| 2018年12月28日 | 16.16  |
| 騰落率         | -1.10% |

※ 騰落率がプラスの場合は円安人民元高、マイナスの場合は円高人民元安となります。

出所：投資信託協会

※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の運用の成果を保証するものではありません。

### ○市場動向

12月の中国株式市場は下落しました。月初は、G20の場で米中首脳会談が行われ、米国の対中制裁関税第3弾などの新たな制裁を見送ることで合意したことや、中国の景気下支えに向けた政策期待などを背景に堅調な展開となりました。しかし、堅調地合いは長くは続かず、中国通信機器最大手の幹部が、米国の要請によりカナダで逮捕されたことが嫌気され、下落に転じました。その後、今後の米中協議の予定などについて、両国のトップレベルでの電話協議が実施されたとの報道などを好感し、一旦反発を見せました。月後半は、鉱工業生産や小売売上高などの景気指標の悪化、欧米の経済指標も総じて冴えない内容となったことなどから、グローバル景気の先行き懸念が広がり、グローバルに株式市場が大きく売られる中、中国株式市場も軟調な展開となりました。

### ○運用経過

独自に開発したAI(人工知能)モデルを活用した運用により、上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目指しております。当月の株式市場は、世界的な株安の流れの中、下落を免れませんでした。その下落幅は他の市場との比較では抑制されたものとなり、独自にモニタリングしているインプライド・ボラティリティは、株価の下落を受けて上昇したものの、長期的な平均からは依然として低い水準にとどまりました。このため、この市場の下落局面において、ポートフォリオの株式への配分を徐々に増やし、前月末の60%台前半から80%台半ばまで引き上げました。セクター配分に関しては、金融が最も配分が多く、次いで資本財・サービスとなっています。

### ○今後の運用方針

当月、株式市場は下落しましたが、そのインプライド・ボラティリティは依然として長期の平均水準を大きく下回っています。このため、この短期的な下落局面で株式への配分を引き上げました。インプライド・ボラティリティが足元の水準から大きく上昇を見せない限り、モデルに沿って株式の配分をさらに引き上げる方針です。引き続き、AIモデルにより、過去の株価のボラティリティや出来高等のデータを用いたパターン分析を行い、リターンが期待できる銘柄選択をすると共に、市場の推定ボラティリティに基づき、株式配分比率を機動的に調整し、パフォーマンスの下落抑制にも努める方針です。

(各種情報を基に損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが作成)

## 中国株 AI運用ファンド

## | ファンドの特色

- 1 上海・深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目指します。
  - 人民元建て債券（中国国債等）に投資を行うことがあります。
  - ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
    - ・ 当ファンドは、「U Access - Optimum China A Equity YC share class」投資信託証券および「SOMPOマネープールマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
    - ・ 原則として「U Access - Optimum China A Equity YC share class」投資信託証券への投資比率は、高位を維持することを基本とします。
- 2 UBPインベストメント・マネジメント（上海）リミテッドが独自に開発したAI（人工知能）モデルを活用した運用を行います。
  - AIモデルでは、過去の株価のボラティリティや出来高等のデータを用いたパターン分析を行い、上昇が予想される銘柄を選定します。
  - 市場のボラティリティについても独自に推定し、ポートフォリオ全体のボラティリティを抑制するために、株式の組入れ比率を0～100%の範囲で機動的に調整します。
- 3 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## | 投資リスク①

## 《基準価額の変動要因》

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属いたします。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

## ◆ 価格変動リスク

株式等の価格は、国内外の政治・経済情勢、市況等の影響を受けて変動します。組入れている株式等の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ◆ 信用リスク

株式等の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている株式等の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また発行体の倒産や債務不履行等の場合は、株式等の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

## ◆ 為替変動リスク

外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。

為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ◆ 流動性リスク

国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

## 中国株 AI運用ファンド

### 投資リスク②

#### ◆カントリーリスク

一般的に、主要先進国以外の国では、主要先進国に比べて、経済が脆弱である可能性があり、国内外の政治・経済情勢、取引制度、税制の変化等の影響を受けやすく、また市場規模や取引量が小さいこと等から有価証券等の価格がより大きく変動することがあり、ファンドの基準価額が大きく下落することがあります。

#### 《その他の留意点》

- ◆ クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の6）の適用はありません。
- ◆ 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### お申込みメモ

|                   |  |
|-------------------|--|
| 購入単位              | 販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。  |
| 購入価額              | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額  |
| 購入代金              | 販売会社が定める日までにお支払いください。  |
| 換金単位              | 販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。  |
| 換金価額              | 換金請求受付日の翌営業日の基準価額  |
| 換金代金              | 換金請求受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。<br>換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする投資信託証券の解約および換金の停止ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止等 <sup>※</sup> その他やむを得ない事情により、有価証券の売却（主要投資対象とする投資信託証券の解約または換金を含みます。）や売却代金の入金が遅延したとき等は、換金代金の支払いを延期する場合があります。 |
| 申込不可日             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上海証券取引所、深セン証券取引所、香港証券取引所の休業日</li> <li>・ ルクセンブルクの銀行の休業日（半日休業日を含みます。）</li> </ul>  |
| 申込締切時間            | 原則として午後3時まで（販売会社により異なる場合がありますので、詳細につきましては販売会社までお問い合わせください。）  |
| 換金制限              | 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。   |
| 購入・換金申込受付の中止及び取消し | 委託会社は、購入・換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする投資信託証券の申込み・解約及び換金の停止ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止等その他やむを得ない事情があると判断したときは、購入・換金の受付を中止すること、及び既に受付けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。  |
| 信託期間              | 2023年10月17日まで（設定日 2018年10月26日）<br>※委託会社は、信託約款の規定に基づき、信託期間を延長することができます。   |
| 繰上償還              | 主要投資対象とする投資信託証券が償還する場合、受益権の残存口数が10億口を下回ることとなった場合、繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、繰上償還させることがあります。  |
| 決算日               | 原則10月18日（休業日の場合は翌営業日）※初回決算日は、2019年10月18日です。  |
| 収益分配              | 毎決算時（年1回）、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。<br>※ 分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。<br>販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。<br>各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。   |
| 信託金の限度額           | 1兆円  |
| 公告                | 委託会社のホームページ（ <a href="http://www.sjnk-am.co.jp/">http://www.sjnk-am.co.jp/</a> ）に掲載します。  |
| 運用報告書             | 原則、毎決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。   |
| 課税関係              | 課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。   |

## 中国株 AI運用ファンド

### Ⅰ ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用      |   |  |
|---------------------|---|--|
| 購入時手数料              | 購入価額に <b>3.24% (税抜3.0%) を上限</b> として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。<br>※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。  | 販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価  |
| 信託財産留保額             | ありません。  |  |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 |   |  |
| 運用管理費用<br>(信託報酬)    | 当ファンドの日々の純資産総額に対して <b>年率1.0584% (税抜0.98%)</b> を乗じた額です。<br>運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。   | 運用管理費用(信託報酬)＝運用期間中の基準価額×信託報酬率  |
|                     | 委託会社 年率0.30% (税抜)   | ファンドの運用の対価   |
|                     | 販売会社 年率0.65% (税抜)   | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価  |
|                     | 受託会社 年率0.03% (税抜)   | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価   |
| 投資対象とする投資信託証券の信託報酬等 | <b>年率0.75%</b><br>※ 上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等(監査費用、弁護士費用等)、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。  | 投資対象とする投資信託証券の運用の対価、管理報酬等  |
| 実質的な運用管理費用(信託報酬)    | ファンドの純資産総額に対して <b>概ね1.8084% (税込・年率) 程度</b> となります。<br>※ 当ファンドの運用管理費用(信託報酬)年率1.0584% (税抜0.98%)に投資対象とする投資信託証券の信託報酬等(年率0.75%)を加算しております。投資信託証券の組入状況等によって、当ファンドにおける、実質的に負担する運用管理費用(信託報酬)は変動します。   |  |
| その他の費用・手数料          | 以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。<br>● 監査費用<br>当ファンドの日々の純資産総額に定率(年0.00216%(税抜0.0020%))を乗じた額とし、実際の費用額(年間27万円(税抜25万円))を上限とします。なお、上限額は変動する可能性があります。<br>● その他の費用※<br>売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等<br>※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 監査費用：<br/>監査法人に支払うファンド監査にかかる費用</li> <li>● 売買委託手数料：<br/>有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料</li> <li>● 保管費用：<br/>有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用</li> </ul> |

※ 当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

### ●税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

| 時期           | 項目       | 税金   |
|--------------|----------|--|
| 分配時          | 所得税及び地方税 | 配当所得として課税<br>普通分配金に対して20.315%                |
| 換金(解約)時及び償還時 | 所得税及び地方税 | 譲渡所得として課税<br>換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315% |

※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 法人の場合は上記とは異なります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

**●販売会社（順不同、○は加入協会を表す）**

| 販売会社名     | 区分       | 登録番号            | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融<br>商品取引業協会 | 備考 |
|-----------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|----|
| むさし証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第105号 | ○       |                         |                         | ○                          |    |
| 東洋証券株式会社  | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第121号 | ○       |                         |                         | ○                          |    |

**<備考欄の表示について>**

- ※1 記載の日付より新規お取扱いを開始します。
- ※2 記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。
- ※3 新規のお取扱いを行っておりません。

**<ご留意事項>**

- ・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。
- ・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。
- ・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。

**●委託会社・その他の関係法人**

|      |   |
|------|---|
| 委託会社 | ファンドの運用の指図を行います。<br>損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社<br>金融商品取引業者（関東財務局長（金商）第351号）<br>加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会<br>ホームページ： <a href="http://www.sjnk-am.co.jp/">http://www.sjnk-am.co.jp/</a><br>電話番号：0120-69-5432 ●クライアントサービス第二部 |
| 受託会社 | ファンドの財産の保管及び管理を行います。<br>三菱UFJ信託銀行株式会社<br>（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）   |
| 販売会社 | 受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。   |

**当資料のご利用にあたっての注意事項**

- ◆ 当資料は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドの購入のお申込みの際には販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。
- ◆ 当ファンドは、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。また、外貨建て資産に投資する場合には、為替リスクがあります。投資信託は、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- ◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- ◆ 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ◆ 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料に記載されている各事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金に関しては、運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。
- ◆ ファンドマネージャーのコメント、方針、その他の予測数値等については、現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等により、当該運用方針やその他予測数値等が変更される場合があります。また、記載した内容は、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- ◆ 当資料に記載されている各数値は四捨五入して表示していることがありますので、誤差が生じている場合があります。
- ◆ 当資料に記載されている各事項につきましては、正確性を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。当資料に記載の当社の意見等は予告なく変更することがあります。